

令和2年度 心くい里山里海湖活動表彰 表彰者一覧

表彰者名	主な活動市町	表彰理由
<p>えちぜん 越前おおのエコフィールド 管理・運営協議会 (代表 林 俊介)</p>	<p>大野市</p>	<p>大野市上庄地区にある「越前おおのエコフィールド」において、平成21年から10年以上、市内の広大な森林を守り育てるため、緑化活動をはじめとした様々な活動を行っている。 「どんぐりの里親事業」では、毎年、大野市内の小学2年生を対象に森林に関する授業を実施するとともに、ドングリを渡し苗木に育ててもらい、楽しみながら環境について学べるようにしている。今年度は、学校が春先に休校となったため、協議会会員や教員が協力し途中まで苗木を育て、学校再開後は子ども達に引き継いだ。これらの苗木はエコフィールド内に移し、3、4年育てた後、森づくり団体が取り組む植樹活動用に配布している。 また、毎年秋頃に、森づくりイベントとして協議会会員の33の企業や団体が参加し、どんぐりの苗木の越冬作業や市内の森での植樹活動を行っている。今年度は感染症拡大により活動が制限される中、移動方法の工夫や参加人数の制限など、感染症対策を十分に行うことで、例年どおりの活動を実施した。 これら植樹活動により、森の生き物の食料となる木を増やしクマの出没被害の軽減につなげることも目標としている。</p>
<p>さかぐち 坂口エコメイト (代表 野村 みゆき)</p>	<p>越前市</p>	<p>平成13年に実施した県の事業に参加したことをきっかけに、坂口地区の小中学生を中心に活動を開始した。以後、坂口地区に生息しているアベサンショウウオやコウノトリなど、希少な生き物が生息する環境下で、無農薬、外来種など、様々な見方から生き物調査を20年間継続して行い、これらをまとめ、県内外の発表会で発表している。「こどもエコクラブフェスティバル」や「こどもホタルエンジャー」など全国規模での発表も行い、坂口地区の自然環境について情報発信している。平成28年からは、外来種の害について学習したメンバー自らの発案による活動として、アメリカザリガニの駆除活動を追加。 今年は、メンバーの活動時間に制約がある中、観察場所の変更や時間を短縮するなどの工夫により、外来種駆除活動や観察会を実施した。観察会が出来ない季節についても、過去の観察記録を活用し、子供の想像力を働かせながら季節毎の生き物の変化について学べるよう工夫した。 卒業生メンバーも地域のイベントを手伝うなど、坂口エコメイトの活動に関与しており、組織の存在自体が故郷を愛する人間形成に寄与しており、世代を超えて自然環境教育に取り組んでいる。</p>
<p>(株)エイ・ダブリュ工業・ 若狭 (若狭町) アイシン・エイ・ダブリュ 工業 (株) (越前市)</p>	<p>若狭町</p>	<p>若狭町協袋自治会が実施している膳部山登山道の整備作業にボランティアとして平成30年度から参加協力した。 主な活動として、急斜面への安全ロープ、簡易ステップの設置、景観支障木、倒木の伐採除去、案内標識や膳部山の紹介看板の取り付け等を行った。 参加人数 平成30年度 作業12名、事前視察3名 令和元年度 作業11名 令和2年度 作業5名、当日視察1名</p>
<p>日本生命保険 (相) 福井支社 (福井市)</p>	<p>越前市</p>	<p>越前市の帆山町里山保全の会が実施している村国山南側斜面の整備作業に令和元年度から参加協力している。 主な活動として、急斜面への簡易ステップの設置、倒木の伐採除去、案内標識の取り付けのほか、材料をニッセイ緑の財団が提供し地域の子供たちを交えた樹名板取り付け作業に協力した。 参加人数 令和元年度 整備作業5名、樹名板取付1名 令和2年度 整備作業5名</p>